

テレビ静岡制作「ヨコヅナイワシ –駿河湾最深部の王者“3つの謎”–」

科学放送高柳賞・優秀賞受賞

テレビ静岡制作「ヨコヅナイワシ –駿河湾最深部の王者“3つの謎”–」が2022年度 科学放送高柳賞・優秀賞を受賞することになった。

科学放送高柳賞は、ブラウン管に「イ」の字の電子表示を世界で初めて成功させ日本において“テレビの父”とも呼ばれる高柳健次郎が設立した高柳財団から贈られる。科学技術の振興とその知識の向上に役立つ優れた科学放送番組を激励し、番組内容の向上に寄与する事を目的としたものである。

●番組について

2021年1月に駿河湾（静岡県）の最深部で新種の巨大深海魚が発見された。体長1.4m、重さ25kg。その魚はセキトリエワシ科の新種で、体長が同種の一般的な個体の4倍あり、群を抜いて巨大だったため「ヨコヅナイワシ」と名づけられた。しかも、駿河湾の最深部におけるトッププレデター（頂点捕食者）、生態系の頂点に君臨する“王者”だというのだ。

テレビ静岡では2015年から独自開発の深海カメラで駿河湾の深海世界を撮影してきたが、この一報を受け、2021年春、ヨコヅナイワシの撮影プロジェクトをスタートさせた。プロジェクトの中で浮かび上がったのは、これまで知られていた深海生物の“普通”とは異なる「3つの謎」。番組では、膨大な駿河湾の深海映像、捕獲個体の解剖調査、最新研究の取材から、新種の巨大深海魚の神秘に満ちた生態に迫っている。

なお、ナビゲータは芸能界きっての“深海ツウ”田中直樹（ココリコ）と鈴木香里武が務めている。



ヨコヅナイワシの生態調査

●制作者：齊藤嘉一より

静岡県には日本で最も深い「駿河湾」があります。その最深部は水深2,500m。港からわずか数キロで深海の“入り口”水深200mを超える起伏に富んだ海には、日本に生息する魚類の4割以上、およそ1,000種が暮らすと言われています。私はおよそ10年この海を取材しています。その中で、ある研究者は「皆さんのすぐ目の前にある駿河湾は深海生物の竜宮城みたいな場所です」と話してくれました。その“竜宮城”の“主”が見つかった…発見の一報を受けた時の興奮は今でも忘れません。「新種」「巨大」という強烈なフレーズが目立ちますが、これほど大きな魚が、どこで生まれ、どのように育つのか、ヨコヅナイワシという生き物の一生に思いを馳せるきっかけに、この番組がなれば嬉しく思います。